

# コミュニケーション指導実践シート

対象	小学部5・6年生	教科・領域等	自立活動（おはなし）
場所	教室	学習形態	集団学習

## 1 児童の実態

聴覚に課題のある児童、視覚に課題のある児童が在籍している。そのため目でも耳でも楽しめるおはなしを用意することが必要である。他者からの働きかけに対しては、声を出したり表情を変えたり、口をもぐもぐと動かしたりといった方法で、それぞれが自分なりの方法で応じることができる。友達に手を伸ばし自分から関わっていける児童もいる。

## 2 児童の目標

- ・おはなしを聞いて感じたことを表情や発声、身体の動きで表現することができる。
- ・ブロックの友達と触れ合って、相手を意識することができる。

## 3 実践

### <指導の手立て>

- ・ブロックの友達を意識できるように、直接触れ合ったり、小さくまとまって同じ活動を共有したりできる環境設定を行う。

①「ともだち」のおはなしを見たり聞いたりする。

②場面に合わせておはなし体験をする。

\* ブロックの友達全員と握手をしよう

\* みんなで合奏をしよう

\* みんなで隠れちゃおう

\* みんなで工作をしよう



## 4 児童の変容（成果：○、課題：△）

○握手をする活動を繰り返し行うことで、友達の方をしっかりと見たり、声を出して呼びかけたりするような様子も見られるようになった。

△今後他の題材でおはなし体験を行うときも、お互いを見合えるような環境設定を継続して行っていく必要がある。

